

Nexus 7000 シャーシの交換手順

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチを取り替えて下さい](#)

[はじめに](#)

[シャーシ置換ウィンドウ](#)

[オプション 1.段階的に行なわれたアプローチ](#)

[オプション 2.直接の置換](#)

[方法 vPC ステイッキ ビットを確認する正しく設定されます](#)

概要

この資料は仮想ポート チャンネル (vPC) 環境でシャーシ置換を行うのに必要とされるステップを記述したものです。このシナリオはハードウェア障害または機能/ハードウェアサポート 制限が原因で実行されます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Nexus オペレーティング システムの CLI
- vPC ルール

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

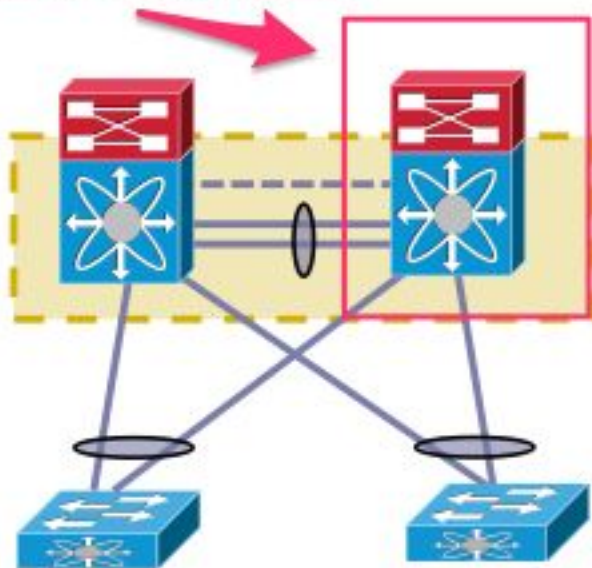
- Supervisor 1 リリース 5.2(3a) またはそれ以降
- スーパーバイザ 2 リリース 6.x またはそれ以降

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

Cisco Nexus 7000 シリーズ スイッチを取り替えて下さい

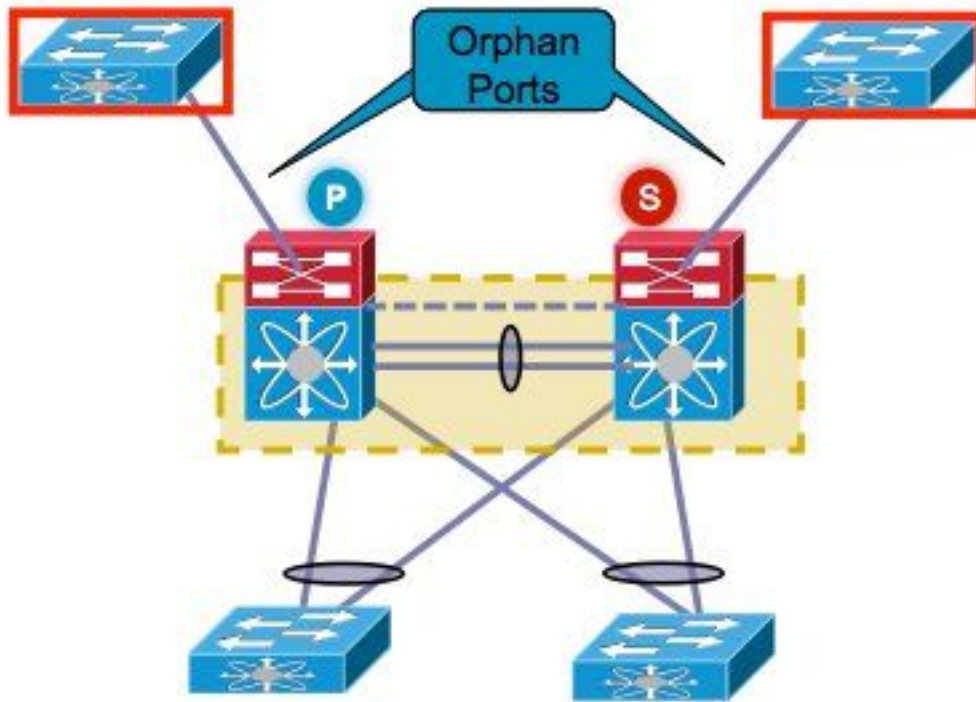
取り替えるとき Cisco Nexus 7000 シリーズは切り替えます、最小または停止がないことを確認するためにこの手順を行って下さい。このイメージはシャーシを交換する方法を説明します。

Replacing the Chassis below



はじめに

1. 置換シャーシのための Return Material Authorization (RMA) が作成されたら、ライセンスを新しいシャーシで rehosted 取るためにケースが認可チームとオープンされるようにして下さい。認可チームは置換シャーシのための新しいライセンス ファイルを生成できます。新しいライセンス ファイルの生成はシャーシの現在のライセンスを無効にしません。ライセンスキーが付いているメールを保存して下さい。
2. すべての VDC (仮想デバイス コンテキスト) の実行コンフィギュレーションを保存して下さい。
3. ブートフラッシュと FTP/Secure FTP (SFTP) /TFTP サーバのすべての VDC のための実行コンフィギュレーションをバックアップして下さい。
4. すべてのデバイスがターゲット Nexus 7000 の孤児ポートによって接続されること識別して下さい。接続不可は環境がネットワークに再び冗長リンクがない孤児ポートによってサポートされればベテランです。



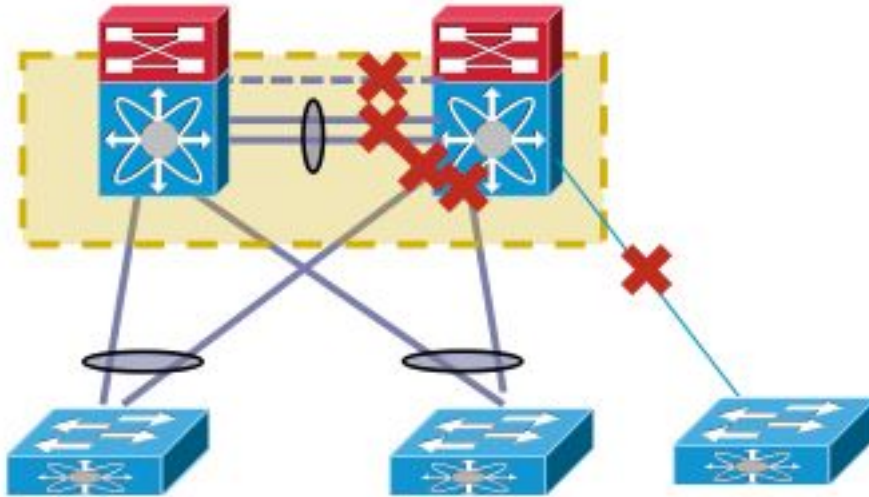
5. フェールオーバーへの計画アクティブなファイアウォール/ロードつりあい機/ターゲット Nexus 7000 に他の Nexus 7000 に現在ある同じようなデバイス。
6. 両方からのこのリストで示されているコマンド 出力を Nexus 7000s 収集して下さい (後実装 確認を除けば)。これは VDC ごとにまた完了しなければなりません。 show versionshow moduleshow inventoryshow vpcvPC ロールを示して下さいshow port channel 要約show span 合計show vlan 合計show running-configIP int 要約を VRF すべて示して下さいint ステータスを表示して下さいshow cdp neishow trunk特定のサーバへの ping 到達可能性を確認するか、または適切な Network Management Systems (NMS) ツールを使用するため各顧客の環境によって、追加コマンド出力はキャプチャされる必要があります

シャーシ置換ウィンドウ

シャーシ置換を行う 2 つの方法があります。 オプション 1 は顧客をフェーズにステップを実行する機能提供するが文書時間をかけますより制御されたアプローチを。 第 2 オプションはまた利用できます。 リストされているオプションは両方とも vPC ロールの依存しないです。

オプション 1.段階的に行なわれたアプローチ

1. 交換されるシャーシのすべての vPC リンクをシャットダウンして下さい。 これは vPC が設定される VDC に適用します。
2. すべてのレイヤ3 物理リンクをシャットダウンして下さい。
3. すべての孤児ポートをシャットダウンして下さい。
4. ピア キープ アライブ (PKA) リンクをシャットダウンして下さい。
5. ピア リンクをシャットダウンして下さい。 vPC ロールに関係なく、反対側はこれらのステップが二重アクティブなシナリオの原因となるので vPC リンク・ アップの状態を維持します。
6. 接続上の問題がないことを確認して下さい。



スイッチを取り替えるためにこれらのステップを完了して下さい:

1. ターゲット Nexus 7000 の電源を切って下さい。
2. モジュールからのケーブルのプラグを抜いて下さい。
3. 新しいスイッチをインストールして下さい。
4. スーパーバイザおよびモジュールをインストールして下さい。
5. スwitchの電源を投入します。
6. スーパーバイザが正しい NX-OS バージョンを思い付くことを確認して下さい。

ライセンスをインストールするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. 」セクションを始める前に得られるのステップ 1 にシャーシのためのライセンスを「インストールして下さい。
2. ブートフラッシュから実行コンフィギュレーションに設定をコピーして下さい。
3. 設定がバックアップに一貫していることを確認して下さい。

本番に再びスイッチを持って来て下さい。 LACP ロールおよびスティッキ ビットをチェックすることは重要前に始動インターフェイスです。 次の セクションはステップを通過します。

LACP チェック ロールの

ピア リンクが、vPC ロールから離れて、2 つの vPC ピアの間で LACP 常置ロール アップするとき他はスレーブになるが) また決定されます (1 つのピアはマスターになります。

選択 LACP ロールはピアに両方とも同じロールがある場合発生します (マスターかスレーブ)。より低い MAC アドレスのシステムはマスターおよびこの選択がプライオリティコンフィギュレーション vPC ロールのによって支配されないので勝ちます。

可能性のある トラフィック停止の原因となる再選により vPC LACP ポート チャンネルは初期設定をやり直します。

LACP ロールをチェックするためにこれらのコマンドを入力して下さい:

```
show system internal vpcm info all | i "LACP Role"
show system internal vpcm info all | i "LACP Per"
```

推奨事項

本番に再び既に隔離された vPC デバイスをもたらす前に、両方のボックスの LACP ロールを手

エックして下さい。同じロールが両方のピアの vPC ドメインの下でオートリカバリ無しで、オートリカバリを無効にし、隔離されたデバイスをリロードすれば。リロードの後で、隔離されたデバイスは LACP ロールを「確立される」どれも思い付かないし、vPC に LACP 再選ロールのなしで導入することができます。

スティッキビットチェック

スティッキビットが偽に設定されるようにするためにチェックして下さい。

1. 提示 **sys** を内部 **vpcm** ヒントすべて入力して下さい | i 棒コマンド スティッキビットが偽に設定されるかどうか確認するため。
2. スティッキビットが偽に設定される場合、ステップ 5.に進んで下さい。スティッキビットが本当に設定される場合、優先順位 vPC ロールの再構成して下さい。この優先順位ロールのためのオリジナル設定を再適用することを意味します。優先順位ロールがデフォルトである場合、デフォルトを再適用して下さい。この例では、優先順位ロールは 2000 年であり、同じ値は再適用されます。

```
show system internal vpcm info all | i "LACP Role"  
show system internal vpcm info all | i "LACP Per"
```

注: このステップは本当から偽にスティッキビットをリセットします。
3. 提示 **sys** を内部 **vpcm** ヒントすべて入力して下さい | i 棒コマンド スティッキビットが偽に設定されたかどうか確認するため。
4. スティッキビットがそれでも本当である場合、VDC がシャーシをリロードして下さい。
5. スティッキビットが偽である場合、始動 PKA およびピアリンク (PL) 。

出力例 :

```
N7K# show system internal vpcm info all | i i sticky  
Sticky Master: FALSE
```

始動 物理インターフェイス

1. 始動 PKA リンク。
2. 始動 vPC PL。
3. vPC ロールが正しく確立されることを確認して下さい。
4. vPC がインターフェイスを使用不能にしないことによって一つずつリンクする始動。
5. 始動孤児ポート。
6. 始動レイヤ3 物理インターフェイス。

ステップが完了したら、接続上の問題がないことを確認して下さい。

先に収集される同じ出力のスナップショットを奪取し、検証のために比較して下さい。

- show version
- show module
- show inventory
- **show vpc**
- vPC ロールを示して下さい
- show port channel 要約
- show span 合計
- show vlan 合計
- show running-config
- IP int 要約を VRF すべて示して下さい

- int ステータスを表示して下さい
- show cdp nei
- show trunk
- 特定のサーバへの ping 到達可能性を確認するか、または適切な NMS ツールを使用するため
- 各顧客の環境によって、追加コマンド出力はキャプチャされる必要があります

オプション 2. 直接の置換

直接の置換と段階的に行なわれたアプローチの違いは個々のリンクのシャットダウンのアプローチが直接の置換で利用しないことです。

1. ターゲット Nexus 7000 の電源を切ってください。
2. モジュールからのケーブルのプラグを抜いて下さい。
3. 新しいスイッチをインストールして下さい。
4. スーパーバイザおよびモジュールをインストールして下さい。
5. スwitchの電源を投入します。
6. スーパーバイザが正しい NX-OS バージョンを思い付くことを確認して下さい。

ライセンスをインストールするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. シャーシのためのライセンスをインストールして下さい。これはのステップ 1 で「セクションを始める前に「得られました。」
2. ブートフラッシュから実行コンフィギュレーションに設定をコピーして下さい。
3. 設定がバックアップに一貫していることを確認して下さい。

本番に再びスイッチを持って来るためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Nexus 7000 の再度電源を切ってください。Nexus 7000 ですべてのリンクを接続して下さい。
2. バックアップそれに動力を与えて下さい。vPC は初期状態が確立された後戻って来ます。
3. それらを比較するためにコマンドのスナップショットをポスト置換奪取して下さい。

これは Nexus 7000 がシームレスに回復期待される Nexus 7000 リブートに類似したです。

広げて置かれる 2 つのアプローチに利点と欠点があります。オプション 1 はより長い Change ウィンドウを犠牲にしてより多くの制御を与えます。ホストされるアプリケーションのネットワークの種類および種類によって決まるのでアプローチが推奨である推奨事項がありません。

方法 vPC ステイッキビットを確認する正しく設定されます

このセクションは隔離されたスイッチが vPC フォールドに統合されている可能性のある停止を避けるために vPC ステイッキビットが正しく設定されるようにする方法を説明します。

始動 PKA および PL 前にこれらのステップを完了して下さい:

1. 提示 sys を内部 vpcm ヒントすべて入力して下さい | i 棒コマンド ステイッキビットが偽に設定されるかどうか確認するため。
2. ステイッキビットが偽に設定される場合、ステップ 5. に進んで下さい。ステイッキビットが本当に設定されたら優先順位 vPC ロールの再構成して下さい。このオリジナル設定が優先順位ロールのためであるもの再適用することを意味します。優先順位ロールがデフォルトである場合、デフォルトを再適用して下さい。この例では、優先順位ロールは 2000 年

であり、同じ値は再適用されます。

```
N7K# show system internal vpcm info all | i i sticky
      Sticky Master: FALSE
```

注: このステップは本当から偽にスティッキ ビットをリセットします。

3. 提示 **sys** を内部 **vpcm** ヒントすべて入力して下さい | i 棒コマンド スティッキ ビットが偽に設定されたかどうか確認するため。
4. スティッキ ビットがそれでも本当である場合、VDC がシャーシをリロードして下さい。
5. スティッキ ビットが偽である場合、始動 PKA および PL。